

2023 年度 第 5 回 1 月全国有名国公私大模試 地理 B 採点基準

**1 単答記述問題**

- ① 誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は 0 点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ 0 点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については，漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

**2 論述問題**

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には，適宜加点。ただし，満点は越えない。）



以下の共通減点要素で減点

**共通減点要素**

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 字数オーバーは 0 点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合，論理が合わない場合などは 1 点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で，下線が引き忘れてある場合は 1 問につき 1 点減点。  
(指定語句は，解答中のどこかで使用していればよい)

(\*減点しなくていい要素，その他の注意)

- ① 加点ポイント以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は，内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

**3 採点記号**

1	<□□□□>	<b>加点ポイント</b>
2	□□□□x	事実誤認あり
3	□□□□?	文意不明
4	□□✓□□	誤字あり／脱字あり

#### 4 設問別加点要素

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

#### 1

問 1(1)理由 4 点

夏に北上する亜熱帯高圧帯に覆われるから。

【加点ポイント】 (※「気候区」の正否は問わない)

①<2 点> 【夏に乾燥する理由】

- 亜熱帯高圧帯 (中緯度高圧帯) に覆われる

②<2 点> 【①について】

- (北半球の) 夏に北上する

(※亜熱帯高圧帯に覆われるのが「夏」だけであることが読み取れば可)

問 4 理由 2 点

標高が高い影響で麓部より気温が低くなるから。

【加点ポイント】

★「記号：イ」の正解を加点の前提とする

①<1 点> 【例外的な気候となる場所の特徴】

- 標高が高い／高地／高い山脈上

②<1 点> 【①の影響】

- 気温が低くなる／ (標高が高くなるごとに) 気温が遞減する

#### 2

問 3 理由 4 点

日本が輸入超過となっている原料・燃料の輸出国を多く含むから。

【加点ポイント】

★「記号：ス」の正解を加点の前提とする

①<2 点> 【数値が 0.5 以下である意味】

- 日本が輸入超過である／輸出より輸入が多い／輸入より輸出が少ない  
／日本が貿易赤字となる国である

②<2 点> 【「ス」の国の特徴】

- 原料・燃料の輸出国が多い／原燃料を多く産出する  
／日本はこれらの国から原燃料多く輸入している

(※「原料・燃料」は「原油」「石炭」「鉄鉱石」などでも可)

3

問1 4 ○シク教／シーク教／スィク教／スイック教

4

問8 3点

海底油田の開発。

【加点ポイント】

①<3点> 【石油の完全自給の背景】

○海底油田の開発（発見／採掘／採油）など「海底油田」を指摘していれば可（3点）

△新たな油田の開発（発見／採掘／採油）など →2点